

■■ 授業科目名	■■ 科目区分	
Communicative English I J E (8)	コミュニケーション科目	
	■■ 時間割コード	
■■ 講義題目	041117	
	■■ 年度	■■ 時間割
	2011	前期 水2
■■ 担当教員	■■ 単位数	■■ 教室
長井 克己[Nagai Katsumi]	2	
	■■ 対象年次及び学科	
	1～ 教養教育	

■■ 関連授業科目

主題科目 B - 2 で提供される講義

■■ 履修推奨科目

Communicative English II (後期に履修)

■■ 授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、英語を用いてコミュニケーションを行う能力を身につけることを目標とします。授業は、TOEIC対策を行う部分と、DVD教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業内では英文和訳は行いませんので十分な予習をしてから授業に臨んで下さい。更に授業外では、e-learning教材を用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

■■ 授業の目的・達成目標

- ・自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
- ・リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
- ・リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
- ・TOEIC：前期に受験するTOEICで、480点以上のスコアを取得することができる。
- ・コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

■■ 授業及び学習の方法

毎回の授業（第1回以外）の進め方は下記の通りです。十分に予習をしてから授業に臨んで下さい。

- (1) 最初の20分程度：TOEICの問題集を使用して演習を行います
- (2) 次の60分程度：DVD教材を使用してコミュニケーション能力を高めるための演習を行います
- (3) 最後の10分：まとめ等

■■ 成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、TOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

- ・出席、小テスト、宿題（予習・復習）：30%
- ・e-learning：20%

- ・ TOEIC-IPの結果：20%
- ・ 期末試験：30%

■ ■ 授業計画

第1回：オリエンテーション

第2回～第15回：2冊の教科書を使用し、の演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

■ ■ 教科書

1. Yamashita, M., Yokoyama, M., & Okino, Y. (2011). Messages From the Globe. Tokyo: CENGAGE LEARNING.
2. 香川大学大学教育開発センター. (2011). Complete Tactics for the TOEIC Test. Tokyo: SEIBIDO.
(いずれも生協の書籍部にて購入すること。)

■ ■ 参考書

1. 松野守峰、根岸進. (2006). 『はじめて受ける新TOEICテストパーフェクト攻略』東京：桐原書店.
2. 玉井健. (2005). 『決定版 英語シャドーイング入門編』東京：コスモピア.

■ ■ オフィスアワー

授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

■ ■ 履修上の注意

第1回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEICの受験の扱い、自習教材（e-learning）の使用方法について、しっかり確認して下さい。第1回目の授業に必ず教科書を持ってきて下さい。欠席回数が4回以上になった時点で受講資格を失います。TOEIC-IPテストの受験は、単位認定の必須条件です。英語力向上のために外国語自習室を積極的に利用しましょう。自習用教材としてe-learningを採用します。携帯電話またはインターネット接続のパソコンを使用して語学学習を行います。教材の使用料金は教科書代に含まれていますが、通信料は学生負担となります。学内にいる学生自習用パソコンを使用すれば通信料は発生しません。

■ ■ 参照ホームページ

■ ■ メールアドレス

■ ■ キーワード